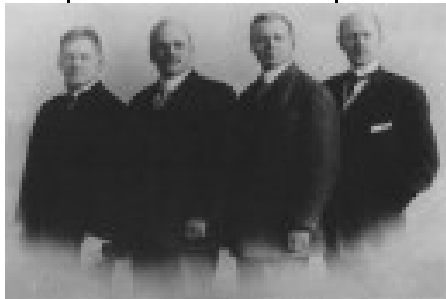






年代	例会、大会、出来事	ロータリアン、綱領 モットー等	内容
1905年 2月23日	シカゴロータリークラブ 初会合・・・創立日 ガスターバス・ローアの 事務所(デアポーン街)	ポール・ハリス ハイラム・ショーレー シルベスター・シール ガスターバス・ローア	「良質の職業人が集まって定期的に会合を開く」 「同業者がいると、お互いに利害関係が生じて、 親睦が阻害されるので一業種から一人選ぶ」 目的: 親睦と互助[友人を作り、さらにビジネスも成功させたい]
			右より ポール・ハリス(弁護士) ハイラム・ショーレー(洋服生地商) シルベスター・シール(石炭商) ガスターバス・ローア(鉱山技師)
3月9日	第2回会合 ポールの事務所	さらに3名入会 ハリラグルス(印刷業) ウィリアム・ジェンセン(不 アルバート・ホワイト(楽器)	「個々の会員の事務所で代わる代わる例会 をする」、「事業の経営者、共同経営者または 会社役員でなければ会員になれない」
3月23日	第3回会合 シールの事務所	さらに2名入会 チャールズニュートン(保険) アーサーアーヴィン(洗濯)	初代会長にシルベスター・シールが指名された (依頼されたことは快く引き受けるという伝統が このときより現在に引き継がれている)
	第7回目の会合 以後		ロータリークラブの名称決定 (会合をお互いの事務所で、ローテーションを 取り決めて、会合が開かれていること より) 会員身分、役職も1年限りでローテーションする 会合場所をホテルに変更した 時間励行が原則になり、昼食を皆んなで食べるこ を習慣とした。 2週間に一回の例会を、1週間に1回とした 4回連続して休むと会員資格を失う約束を作る
1906年 1月	シカゴクラブの最初の 定款制定	「クラブ奉仕の考え」	1、本クラブ会員の事業上の利益の増大 (物質的互惠) 2、通常社交クラブに付随する親睦およびその他 特に必要と思われる事項の推進
		1906年制定	
		1910年制定	
		1913年制定	
		1926年制定	
	互恵取引の実践		「互恵取引」Back Scratching の世界 互恵取引の取引状況を記入することを義務 づける、統計担当の役職と報告書制定
	SAAの役職決定	ポール・ハリス等が 就任	Sergent at Armsの略で、例会において最高の権限を 持つ執行機関の役員。

1907年	シカゴクラブ定款の改定 ポールハリス会長	奉仕の概念が追加 ドナルドカーター入会拒否により、奉仕の概念導入 卓話の始まり 最初の社会奉仕事業 奉仕派と互惠・親睦派(多数派)との対立 ロータリーソング開始	3、シカゴ市の最大の利益を推進しシカゴ市民としての誇りと忠誠心を市民の間に広める(社会奉仕の原点) 会員の会社経営や労使問題などの経営上の悩みを持ち寄って相談しあう、精神的互惠も少しずつ定着し始めた シカゴ市ループ内に公衆便所を設置 シカゴクラブにおいて両派の対立が激しくなり議論の場を和らげるために、ハリー・ラグルスが歌い始めた唱歌が定着した
1908年 1909年	クラブの拡大	サンフランシスコクラブ オークランド、シアトル ロサンゼルス ニューヨーククラブ設立	
1910年	シカゴ大会	ロータリークラブ 連合体の設立 [ロータリーの綱領] 大会晩餐会での アーサー・シェルドン 奉仕哲学の演説 「職業奉仕の理念」	全米16クラブの連合体「全米ロータリークラブ連合体」の結成 初代会長 ポール・ハリスが就任 1)ロータリーの原則を拡大発展させる 2)クラブの業務と原則を統一する 3)市民としての誇りと忠誠心の喚起 4)進歩的で尊敬すべき商取引の方法の推進 5)会員の事業上の利益の増大 “He profits most who serves his fellow best” 他人に利益をもたらすことこそが正しい経営学だということを理解し、販売学が人間に対するサービス学であることを理解し、“同僚に対して最も奉仕した者が最も報われる”ことを理解する
1910年	米国外に拡大 カナダウイニペッグに設立、イングランド等にも		
1911年	ポートランド大会	大会宣言の結語として フランク・コリンズ の演説	“He profits most who serves best” を採択 「職業奉仕の理念が確定」 “Service, not self” を提唱 自分達で商取引を独占するのではなく、他の人たちにも分け与える必要がある 後、誤解釈「自己犠牲に基ずく他人への奉仕」があり “Service above self” となった(’55年にモットー) 「超我の奉仕」
1912年	ダルス大会 国際ロータリークラブ 連合会に名称変更	綱領の改定 名誉会員制度採択	連合会綱領とロータリークラブの綱領とが別になった
1914年	ヒューストン大会	道徳律の制定	職業人のためのロータリー道徳律
1915年		標準定款、模範細則	追加正会員制度(会員増加に伴い)
1916年		「ロータリー通解」発行 (手続要覧の基)	クラブの運営や管理をまとめ上げて標準化した
1917年	ロータリー基金	アーチクラフ基金	ロータリー財団の前身発足
1920年	日本でロータリークラブ		東京ロータリークラブ誕生 10月20日創立、翌21年4月1日に国際ロータリーから世界で855番目のクラブとして正式に承認された。 創立にあたっては米山梅吉(写真左)と福島喜三次両氏の努力によるものである。



1922年	ロサンゼルス大会	連合会が 国際ロータリーと改称 RIのスタート 「国際奉仕の理念」 メーキャップ規定	国際奉仕の概念が綱領に加えられた 6、ロータリーの奉仕の理想にむすばれた実業人と専門職業人の世界的親交によって、理解、親善と国際間の平和を増進すること 例会欠席をメーキャップで補う規定を設ける
1923年	セントルイス大会 セントルイス宣言	人頭分担金の発議 奉仕理念の論争 「決議23-34」 (社会奉仕の理念) ウイル・メーニャ Jr.	障害児救済並びにその救援活動の支援のため 「奉仕の心を形成」と「奉仕活動の実践」の論争 「個人奉仕」と「団体奉仕」の論争 「綱領に基づき諸活動に関するロータリーの方針」 ロータリー哲学を定義し、ロータリークラブと国際ロータリーの機能分担を明確にし、「奉仕の実践」に関するロータリアン、クラブとRIの原則を明確に区分し確定した
9月	関東大震災にRI及び世界中のロータリークラブより多額の見舞金が贈られる		
1926年	デンバー大会		「社会奉仕に関するロータリーの方針」
1927年	オステンド大会(ベルギー)	「4大奉仕」の明確化	今まで2分類(例会内活動と例会外奉仕活動)から4分類法(クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕国際奉仕)にかわる、 退会者続出
1928年	ロータリー財団発足		
1929年	ウォール街から始まった世界恐慌、世界大戦	ロータリーの危機	
1930年	創立25周年記念大会	シカゴで開催	クラブ数3177クラブ(53カ国)、ロータリアン144,000名
1932年		「4つのテスト」発表 ハーバート・テラー	言行はこれに照らしてから 1、真実かどうか？ 2、みんなに公平か？ 3、好意と友情を深めるか？ 4、みんなのためになるかどうか？
1935年	ポール・ハリス日本訪問 ニコニコ箱開始	2月9日来日	東京、神戸、京都訪問 大阪クラブ
1940年	日本RCがRI脱退		日本独自に『7曜倶楽部連合会』を結成し、それぞれ『火曜会』、『木曜会』などの名称を名付た。
1949年	東京RCがRI復帰		大阪、名古屋等全国で35クラブが復帰してロータリー活動を再開した。
1950年	デトロイト大会	ロータリーモットー 正式採択	“He profits most who serves best” “Service above self”
1951年	アトランティック大会	ロータリーの綱領	定款が改定され、Objects of Rotaryが Object of Rotaryに変更 「ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成するものである」 1、奉仕の機会として知り合いを広めること 2、事業及び専門職務の道徳的水準を高めること あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が、業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること。 3、ロータリアンの全てが、その個人生活、事業生活および社会生活に、常に奉仕の理想を適用する 4、奉仕の理想に結ばれた、事業と専門事業に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること
1955年	創立50周年記念大会	シカゴ	クラブ数 8313クラブ、会員数 392,628名
1959年	東京池袋ロータリークラブ創立		4月3日創立、5月22日承認 初代会長 松下正寿
1966年	世界社会奉仕WCS が制定された	ニッティシ・ラハリー	
1967年	(財)ロータリー米山記念奨学会設立		52年東京RCで構想が立てられ、'58年全国組織になる

1985年	ポリオプラスプログラムの開始		
1988年	女性会員入会		
1989年		モットーの改定	“Service above self”がRIの第一モットーと定める “He profits most who serves best”は第二のモットーとなる
2001年	規定審議会での改定	定款、細則改定 会員増強のためと 退会者を減らすため	1、He profits most who serves bestのモットーを 使用停止にする……後日撤回 (性に関する表現をなくすという理由) 2、一人一業種の原則なくす、一業種につき5名又は 会員の10%まで認める。 3、正会員と名誉会員のみとする 4、例会出席の規定が緩和された (旧:連続4回例会欠席は自動的に会員身分の終結) (旧:例会時間の60%以上出席が必要)
2004年	規定審議会での改定	定款、細則改定	1、“He profits most who serves best”を “They profit most who serve best”に変更 2、E クラブでのメーキャップが認められた 3、ロータリー親睦活動(公式の)でのメーキャップ 4、会長ノミニー、会長エレクトの定義づけが明確に
2005年	ロータリー創立100周年	シカゴで記念大会	会員数 1, 214, 127名 クラブ数 32, 176クラブ 地区 529地区、168カ国
2005年		ステンハマーRI会長	2005～06年度国際ロータリーのテーマとしては “Service above self”とした。
2006年		ウイリアム・ボイド会長	“率先しよう” “Lead The Way”
2007年	規定審議会での決定		1、4大奉仕が明文化された 2、例会出席の緩和、半年間で50%以上自クラブに出席 すれば良くなった(以前60%) 3、職業奉仕のモットーのThey profit most～の TheyをHe/Sheにすることが制定されたが、理事会で 2010年まで持ち越しとなった。
2007年		ウイルフリッド・ ウイキンソン会長	“ロータリーは分かち合いの心” “Rotary Shares”
2007年		世界のロータリー	会員数 1, 224, 168名 クラブ数 32, 943クラブ
		日本のロータリー	会員数 97, 530名 クラブ数 2, 319クラブ
2008年	東京池袋ロータリークラブ 創立50周年		

参考文献 ロータリーの源流(田中毅PG)及び Rotary Japanより参考にさせていただきました。
<http://www1.odn.ne.jp/~caz52570/> <http://www.rotary.or.jp/>